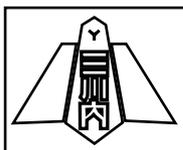


学校だより

あったか三川内



令和3年 12月17日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りを持ち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【人権標語・感想発表から】part 4

最後に6年生代表者2名の感想を紹介します。

6年生の感想文は、長文になりましたので、1名ずつ紹介させていただきます。



【6年生】

○鴨川 楓さん・「人権はいじめや差別だけではない」

「相手のことを考えて、一人ひとりが優しく 思いやりをもったクラスにする」人権集会で6年1組が宣言したことです。いじめをしてはいけない。差別をしてはいけない。それも大切なことですが、人権はそれだけではありません。人権は「誰もが人として生きる権利」のことです。世界では、世界人権宣言が定められています。果たしてこれを、守れている人はいるのでしょうか。私はそもそも、世界人権宣言を知らなかったし、人権についても考えたことはありませんでした。世界人権宣言には、考える自由や、学ぶ自由、選ぶ自由など当たり前のことが書いてあります。だから、人権は「当たり前」を保障することではないかと考えました。

最近、SNSでの誹謗中傷が目立っています。今年は、コロナウィルスも流行り、コロナウィルス感染者などの誹謗中傷もありました。そうやって悪口を言われてどれだけ嫌になったのか、計り知れません。また、その誹謗中傷を見て見ぬふりをした人も、同罪ではないかと思います。私は、悪口を言ったり見て見ぬふりをしたりする人には、なりたくありません。私はたまに、自分の意見を相手に遮られるときがあります。相手もわざとやっているわけではないと思いますが、すごく不快になります。人権宣言には「自由に意見を言うことができる権利」があります。だから、人の意見を遮ってしまうなどの、よくある身の回りの出来事も、人権に関わってしまうのかもしれない。

私は、「当たり前」を保障する人権宣言を守りたいと思います。そのためには、相手のことを考えることが必要不可欠です。自分のことばかり考えてしまうと、他人への配慮が足りず、人を傷つけてしまうかもしれないからです。まずは、人の意見をよく聞き、感謝の言葉や挨拶を忘れないようにしたいです。そして、6年1組の一人ひとりが、人権集会で決めた人権宣言を守れるようになりたいと思います。



【第4回漢字検定】

本日「第4回漢字検定の実施について（お知らせ）」のプリントを配付しています。

期日は、令和4年2月4日（金）16:00～17:00です。今年度最後の実施となります。プリント裏面に申し込み用紙が付いていますので、12月24日（金）までに提出してください。申し込みが10名を超えないと実施できませんので奮って挑戦してください。ちなみに昨年は60名の参加だったそうです。学年のまとめとしてまた、冬休みに取り組む課題としても最適です。漢字習得は、生活していくうえで、とても大切な能力となります。自己の可能性に挑戦し、努力の足跡を残していきましょう。

